

泉区社会福祉協議会 平成27年度 事業計画

【 基本指針 】

「支え合い・助け合いが活きる！元気の出るまち泉」を基本理念とした「第2期泉区地域福祉保健計画」（推進期間：平成22～27年度）の最終年度として、引き続きこの計画の推進に積極的に関わり、この計画が地域に浸透して地域におけるたすけあい活動等が更に展開されることを目指します。

そのため、27年度は積極的に各事業の推進を図るとともに、特に以下の項目に重点をおいて取り組み、区社協が担う支援の強化と地域・関係機関との連携の更なる促進を図ります。

①身近な地域のつながり・支えあい活動の推進

個別の生活課題・福祉課題に基づいた地域ニーズの解決につなげるため、身近な地域における住民主体の見守りやたすけあい活動の推進を支援します。

②地域の皆様や関係団体との連携・協働

地域の皆様や地域ケアプラザ、関係機関・団体と緊密に連携し、幅広い世代の社会参加を進めながら、地域の福祉活動がより活発に行われるよう支援します。

③地区社協支援の強化

26年度に全地区で実施した地区社協意見交換会での意見や提案を踏まえ、区社協が取り組むべき内容を整理し、実現に向けた検討を進めます。

④地域における権利擁護の推進

支援を必要とする高齢者や障がい者が、地域の中で安心して日常生活が送れるよう、権利を守り多様化する生活課題への相談援助を進め、自立を支援します。

⑤寄付や賛助会費の広報・PRと有効活用

様々な地域活動の財源(助成金)となる寄付や賛助会費の増強を図るため、助成金の意義や活用の状況と寄付者のメリット(税額控除)を積極的にPRします。

⑥区社協の事業や取り組みの周知・理解促進

地域における福祉活動の推進に、より区社協を活用してもらえるよう、区社協の機能・役割や各事業の内容を様々な機会を通じて積極的にPRします。

また、第3期泉区地域福祉保健計画（平成28年度～32年度）の策定に向け、計画推進の柱（骨子）に沿って、今後区社協が取り組むべき課題を整理し、その課題解決のため、区社協の機能や各事業の活用を促進します。

平成27年度 事業計画

「第2期泉区地域福祉保健計画」 推進期間：H22～27年度 区社協が計画期間中に達成を目指す取組み	区社協事業計画 「第2期 泉区地域福祉保健計画」に連動し、 H27年度に具体的に取組むこと
--	--

I 交流：人と人とのつながりを大切に するまち	1 区民の身近な地域での活動を推進し、 支援する
------------------------------------	-------------------------------------

1:ちょっとした困りごとをご近所の支え合いで解決できる関係をつくろう

○お互い様でできる気軽な助け合いの仕組みをつくる

地域で行われている助け合いの活動を 紹介する (他地域での取組事例など)	・地区社協(会長・事務局長)定例会 ・地区社協(区域)研修の開催、地区研修の開催支援 ・身近な地域とのつながり・支えあい活動の推進 職員地区担当制、個別ニーズと地域福祉ニーズ把握 の強化、地域ケアプラザとの連携推進、地域ケア会議 への参画、住民・関係機関・団体との連携強化 等 ・区社協賛助会費への理解促進 賛助会費を財源とした地区社協活動助成金交付方法 の見直し、地区別社協活動PRチラシの配付 ・チャリティーコンサート(共催：12地区社協・区役所) の開催 コンサートを通じた地区社協活動のPR
ボランティアネットワークの活動を支援する	・泉区ボランティアネットワーク運営・活動支援 (運営委員会、各部会の支援) ・泉区ボランティアネットワークとの協働事業の実施 ボランティアフォーラムほか

2:誰もが参加できる交流の場・機会をつくろう

○誰でも参加できる場・機会をつくる

地域で開催される、誰でも参加できるイ ベントを支援する	・地区社協による地域情報の広報を促進する ・「みんなでつくろう！福祉の泉助成金」によるボランティ ア団体活動への助成
地区社協が立上げ、運営する居場所を 支援する	・地区社協活動強化への支援 強化費助成、他地域事例の情報提供等

3:地域で活動するグループ同士のネットワークをつくろう

○グループ同士のネットワークをつくる

ボランティアネットワークを支援する	・泉区ボランティアネットワーク運営・活動支援 (運営委員会、各種部会の支援)＜再掲＞ ・泉区ボランティアネットワークとの協働事業の実施 ＜再掲＞
-------------------	---

1: 地域活動に、誰もが気軽に楽しく参加できる仕組みづくりをすすめよう

○誰でも気軽に参加できる仕組みをつくる

地域活動情報を区社協だより、ホームページなどを活用して提供する	・区社協だより(年3回 全戸配付)、HPの活用 ・ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行 年3回 全戸配付 ・「ボランティアセンター通信かわら版」 「ボランティアセンター通信ジュニア版」の発行 ・ボランティアセンター登録者向け情報の発信 ・寄付の効果(地域活動助成)、メリット(税額控除)PR
学校等と連携して地域活動に参加する機会をつくる	・ふれあい“ザ” いずみ 軽スポーツ大会の開催 (協働事業:区内の中学生のボランティア参加) ・当事者とのふれあいの場づくり支援

○地域活動の担い手を育成する

地域活動のグループリーダー育成する	・親子サークルリーダー研修会(共催:区役所)の実施
地区社協と連携して地域活動へのコーディネートを行う	・ボランティアセンター機能を活用した地区社協活動の担い手育成 ・地区社協の協力による、ボランティア講座や福祉情報の周知
住民の要望や地域課題に応じた担い手を、住民や活動団体と協働で育成する	・各種ボランティア講座による担い手の育成、フォローアップ 「ボランティア入門講座」「ボランティア活動分野別講座」 「ボランティア交流会」 ・介護職応援フェア(主催:泉区老人福祉施設長研究会)への協力

1：誰もが情報を入手・発信しやすい仕組みをつくろう

○情報を入手・発信しやすい環境をつくる

区社協だより、区社協ホームページ(モバイル)、地域の情報提供媒体を活用して、日常的に情報提供を行う	・区社協だより(年3回 全戸配付) <再掲> ・区社協HP、ボランティア情報など内容の充実 ・地域活動団体・福祉施設情報の発信強化 ・区社協事業・機能のPR、理解促進
地域住民等と協働で、区全体の地域活動、社会資源、防災等マップを作成する	・区福祉保健計画推進・地域活動支援・各種分野のネットワークづくりの中で、地域課題や状況に合わせて作成支援
区内地域活動情報を紹介するホームページを充実させ、書き込み登録団体を増やす	・区社協HPにおけるボランティア情報などの内容の充実 ・迅速な情報掲載

その他

- ・福祉意識の醸成
泉区社会福祉大会における福祉活動功労者の顕彰
広報紙・HPほか各種媒体や事業・イベントを通した福祉啓発活動
- ・善意銀行(寄付金品の受付、配分)の運営、PR
税額控除のメリットPR
- ・各義援金窓口の開設
(日本赤十字社・被災地支援、共同募金会との協働)

1:いつまでも元気で、気軽に活動できる場をつくろう

○気軽に参加できる居場所をつくる	
居場所の運営支援を行う	・「みんなでつくろう！福祉の泉助成金」による高齢者支援活動への助成 ・地域の居場所や拠点の運営支援の仕組み検討
高齢者が居場所に参加しやすい支援を行う (移送サービスなど)	・送迎サービス(移送サービス・外出支援サービス)の実施 ・送迎サービスの担い手(運転・介助ボランティア)の育成・フォローアップ ・研修会・交流会の開催
○元気に生活するために、健康づくりに取り組む	
地域活動につながる講座を開催する	・団塊の世代等に向けたボランティア講座の開催 ・地域活動情報の発信、参加呼びかけ
○ボランティア(担い手)、活動をととして元気を継続する	
主に団塊世代を対象とした、地域活動への参加を進める取組を行う	・ボランティア講座の開催 ・「ボランティア入門講座」「ボランティア活動分野別講座」「ボランティア交流会」
ボランティアセンターを充実する (「人財バンク」の登録者募集、PR)	・ボランティアセンター・善意銀行のPR、ボランティアコーディネート(需給調整)の実施 ・ボランティアセンター運営委員会の開催 ・各種ボランティア講座の開催 <再掲> ・「人財バンク」の情報更新 ・(区民活動支援センターとの協働事業)

2:助けが必要な高齢者のいる家庭を支援しよう

○自然に見守りができるようになる	
地域見守り活動グループの支援を行う	・「みんなでつくろう！福祉の泉助成金」による高齢者支援活動への助成 ・グループ同士の意見交換会等、横のつながりの仕組み検討構築
○介護している家族も支援する	
認知症高齢者と家族を支援する (権利擁護事業など)	・地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター)の運営事業PR、契約者へのサービス提供、成年後見制度の紹介、包括支援センターとの連携、市民後見人養成への協力

3:グループ間の連携を深めよう

○各種グループのネットワークをつくる

ボランティアネットワークをととした活動 グループ交流会等の開催を支援する	・泉区ボランティアネットワーク運営・活動支援 (運営委員会、各種部会の支援) <再掲> ・泉区ボランティアネットワークとの協働事業の実施 <再掲>
介護者同士の交流やグループ同士の連 携が図れるよう支援する	・ケアプラザと協働し、交流や連携を支援する
グループ情報を集約し提供する	・区民活動支援センターとの協働による情報収集 ・区社協だより、区社協HPの活用 ・福祉保健活動拠点内での情報掲示

1：障がい児・者が暮らしやすくなる地域をつくろう

○意識のバリアフリーをすすめる	
障がい児者を理解するための広報、啓発活動を実施する (作品展示などのPR事業、災害用コミュニケーションボード、出前講座など)	・IHネット(泉区障がい福祉支援協議会)活動との協働 ・福祉の作品展などによる啓発活動 ・区民ふれあいまつりへの参加支援
○障がいの有無に関係なく参加・交流できる場をつくる	
関係機関が地域活動に企画から参加ができるように支援する	・当事者の社会参加の機会づくり ジュニアフレンド(学齢障害児余暇支援事業)への参画・支援 ・広報紙の配付業務の障がい者地域作業所への委託 ・IHネット(泉区障がい福祉支援協議会)活動への参画 ＜再掲＞ ・ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会の開催 〔協働事業〕
○地域の中で助け合う仲間を増やす	
ボランティア登録者へ障がい理解のための学習会を開催する	・ボランティア講座・公開講座の開催 「ボランティア活動分野別講座」＜再掲＞
関係機関と住民、活動団体が協力して開催する障がい者同士、家族同士の交流会を支援する	・「みんなでつくろう！福祉の泉助成金」による活動助成 ＜再掲＞ ・ふれあい“ザ”いずみ 軽スポーツ大会の開催 〔協働事業〕＜再掲＞ ・ジュニアフレンドへの参画・支援＜再掲＞
○人・情報のネットワークを強くする	
関係機関、区役所と協力して、障がい児者や作業所、施設等関係機関との情報交換と集約、発信ができる仕組みをつくる	・IHネット(泉区障がい福祉支援協議会)活動との協働 ＜再掲＞ ・障がい児者災害支援センター構想の推進 ・泉区障害福祉自立支援協議会への参画
教育機関が地区や区内の施設等関係機関との話し合いに参加できるよう支援する	・各種事業(福祉教育、ジュニアフレンドなど)を通し、関係機関が連携する機会づくり
必要な人に必要な情報が届くようコーディネートする	・区社協だより、区社協HPの活用 タイムリーな情報アップ ・障害者後見的支援制度との連携、周知協力

1:地域の中で子育てができ、こどもが育つ仕組みをつくろう

○いつでも気兼ねなく相談しあえ、支え合える関係づくりをすすめる

小・中・高校等でこどもとふれあう学習プログラムを提案・実施する

- ・小・中学生対象「サマースクール2015」(福祉体験学習)の実施
- ・学校などが行う福祉教育への協力
(プログラム提案・講師調整、リーフレットの作成)
- ・福祉教育サポーターの育成、協働、連絡会議の開催
- ・ジュニアボランティアの活動機会を設定
(福祉イベント、共募街頭募金、福祉関係キャンペーンなど)

2:誰でも集える世代間交流・ふるさとづくりの場をつくろう

○地域に対する愛着を深め、ふるさとづくりを促進する

地域子育て支援拠点等と協力して、ボランティア育成に取り組む

- ・関係機関と協働した研修会・交流会等の開催
- ・「みんなでつくろう!福祉の泉助成金」による子育て支援活動への助成
- ・学校などが行う福祉教育への協力<再掲>

3:子育て支援団体・協力者のネットワークをつくろう

○子育て支援団体・協力者のネットワークをつくり、協力体制を強化する

既存の会議を統合して、ネットワークづくりの会議を立ち上げる

- ・区域・ケアプラザエリアでの子育て支援ネットワークづくり支援、ネットワークへの参画[協働事業]

地域での子育てのネットワークができるよう支援する

- ・区域・ケアプラザエリアでの子育て支援ネットワークづくり支援、ネットワークへの参画[協働事業]<再掲>

4:こどもの人権を尊重する地域づくりをしよう

○こども虐待とドメスティックバイオレンス(DV)の防止する普及・啓発活動に取り組む

こども虐待とDVの正しい知識と相談先の普及・啓発活動を行う

- ・チャリティーコンサート(共催:区内12地区社協・区役所)での啓発活動

こども虐待防止月間(11月)キャンペーン活動を行う

- ・チャリティーコンサート(共催:区内12地区社協・区役所)での啓発活動<再掲>

1:健康美を手に入れよう

○運動を生活に取り入れる

ボランティアネットワークをとおして、健康づくりグループの活動支援や、団体同士の交流会の開催を支援する

・泉区ボランティアネットワーク高齢者部会の活動支援
・「みんなでつくろう！福祉の泉助成金」による健康づくり活動への助成

「人財バンク」(活動者・団体情報冊子)を活用する

・「人財バンク」の情報更新
(区民活動支援センターとの協働事業) <再掲>

○食生活を改善する

高齢者食事サービスや子育てサロン交流会等で、食育をテーマとした取り組みを支援する

・地区社協の協力による、食事会・サロンへの食育関連情報の提供

○口腔ケアの重要性とタバコの害を知る。

区社協会員(団体・施設)に向けに口腔ケアやタバコの害についてPR活動を支援する

・区社協だより、区社協HPの活用
・福祉保健活動拠点内でのチラシ・ポスターによる周知協力

その他

・生活福祉資金の相談・援助
福祉資金の貸付、
民生委員児童委員との協力による当該世帯の自立促進
生活支援資金等、セイフティーネットとなる資金の相談
貸付による個別援助
生活困窮者自立支援制度との連携
・たすけあい福祉資金
(火災等の罹災者への見舞金給付)
・行路病人への支援

1: 災害緊急時に地域で助け合う仕組みづくりをすすめよう

○「自分の身は自分で守る」取組をすすめる

防災・火災予防週間に合わせ、各種イベントを活用し防災情報を提供する

- ・災害ボランティア連絡会の運営・活動支援
- ・区民まつりなどでの 防災・災害ボランティア活動に関する啓発活動、災ボラフェスタの開催（共催：災害ボランティア連絡会）

防災・火災予防週間に合わせ、広報物を活用して、防災情報を提供する

- ・区社協だより、区社協HPの活用＜再掲＞
- ・福祉保健活動拠点内でのチラシ・ポスターによる広報

○災害時の支え合いの仕組みをつくる

防災拠点と災害ボランティア連絡会が連携して防災訓練を行えるよう支援する

- ・災害ボランティア連絡会の運営・活動支援 ＜再掲＞
- ・地域における災害時シミュレーション訓練の実施（共催：災害ボランティア連絡会）

防災マップ作成を支援する

- ・地区計画推進・地域活動支援の中で、地域課題・状況に合わせて作成支援
- ・障がい児者災害支援センター構想の推進（IHネットとの協働）

2: 誰もが安心して暮らせる犯罪に強いまちづくりをすすめよう

○「自分の身は自分で守る」取組をすすめる

犯罪発生情報に関する情報提供をする

- ・区社協だより、区社協HPの活用 ＜再掲＞
- ・拠点内でのチラシ・ポスターによる周知 ＜再掲＞

子ども安全の日等に合わせ防犯啓発活動を行う

- ・区社協だより、区社協HPの活用 ＜再掲＞
- ・拠点内でのチラシ・ポスターによる周知 ＜再掲＞

○地域による防犯活動を実施する

誰にでもできる防犯パトロールを啓発する

- ・各種事業（送迎サービスの車両等）を活用した啓発活動
- ・区社協だより、区社協HPの活用 ＜再掲＞
- ・拠点内でのチラシ・ポスターによる周知 ＜再掲＞

防犯マップ作成を支援する

- ・地区計画推進・地域活動支援の中で、地域課題・状況に合わせて作成支援 ＜再掲＞

9 社会福祉協議会活動・法人運営

「地域福祉保健計画」の推進

- ・「第2期 泉区地域福祉保健計画」の推進
 - 区役所との共同事務局による計画の推進
 - 計画推進にあたっての地域ケアプラザ等関係機関との連携
 - 地域福祉保健推進協議会への参画
 - 地域支援チームへの参画（「地区別計画」推進支援）
- ・「第3期 泉区地域福祉保健計画」の策定
 - 地域、区、地域ケアプラザ、関係機関・団体と連携した計画策定の推進
 - 計画策定委員会への参画

信頼性の高い法人運営をめざす

- ・公益性の高い社会福祉法人として、適切な組織運営
 - 理事会・評議員会の開催
 - 各種部会・分科会の開催
 - （共通課題（テーマによる）合同部会の開催）
 - 各種委員会の開催
 - （ボランティアセンター運営・広報編集・助成金配分審査）
 - 会員との協働による福祉の推進、福祉人材の育成
- ・計画的で透明性の高い業務執行、法律や規定に基づいた適切な事務・経理処理
- ・災害時体制の構築
 - 災害対応マニュアルの整備
 - BCP（業務継続計画）の策定
 - 関係機関との連携体制構築

団体事務

- ・地域で活動する福祉団体の事務局を担う
 - 神奈川県共同募金会泉区支会
 - 日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会
 - 泉保護司会
 - 泉区更生保護女性会
 - 泉区更生保護協会
 - 泉区遺族会

福祉保健活動拠点の運営

- ・泉区福祉保健活動拠点の運営
 - 〔指定管理期間：H23. 4. 1～H28. 3. 31〕
 - 利用者ニーズの把握とサービスの提供
 - 利用登録団体懇談会の実施
 - 効果・効率的な拠点運営、利便性の拡大